

# 湖頭

令和4年7月1日  
富士市立須津小学校  
学校だより（7月号）

## 子どもたちの学びを支えていただき感謝します

校長 望月 秀一

今日から7月。夏休みまで後3週間余りとなりました。例年よりも早い梅雨明けに驚くとともに、連日の猛暑で水泳の授業が待ち遠しい子どもたちです。ですが、熱中症指数が高い日には、外の活動ができず、外遊びや水泳の授業もできない日もあります。そんな時には、冷房が入っている教室で、読書旬間に併せて本に親しんでいる子どもたちです。また、熱中症の心配から、登下校はマスクを外すよう声を掛けています。今後、ますます気温の上昇が見込まれますので、ご家庭や地域の皆様からも声を掛けていただくと助かります。

子どもたちの活動を見ていると、とても頼もしく感じる時があります。1年生が毎朝、朝顔に水やりをしています。「朝顔が咲いたよ。」と私に伝えに来てくれる時の顔は笑顔で、こちらも嬉しくなります。また、花が落ちてしまったと泣いて私に伝えに来てくれた子もいました。「どうして落ちたのかな。」たくさんつぼみをもっていると言ってきたので、「これからよく見ていくといいよ。」と話しました。自然の営みから、子どもは探求心を膨らませていきます。



野菜を育てている2年生は、収穫できたミニトマトを「家へ持ち帰って食べるんだ。」と私に見せてくれました。夕食に家族みんなで楽しそうに食べている光景が目に見えられます。生き物探しでも、川でカニを見つけ一喜一憂した2年生です。

CS ボランティアの皆様のご協力で、学級担任が子どもと向き合う時間を確保することができ、校外学習を充実することができました。また、外部からゲストティーチャーを招いて、より専門的なお話や体験活動をさせていただくことで、子どもが学びを楽しむことができ、学びを豊かにすることができました。ご協力ありがとうございます。



特色ある教育の推進から、大学の先生を招いて授業研究を行いました。先生からは、どの学級も子ども中心の授業が行われ、一人一人の存在感を感じることや、学び合う姿が自然に表れているとお話をいただきました。また、子どもは、多様な見方や考え方をもっていることを授業で生かしていくことや、子どもは学ぶ意欲と自ら追求し、育つ力があるので、それを表現できるような条件や環境を整えることが教師の役割であることをご示唆いただきました。これからも子どもたちが、様々なことを自分事として捉え、仲間と対話する中で、自力解決できる授業を目指していきたいと思っております。授業の見守りに来ていただいたCSボランティアの皆様ありがとうございました。111

『須津ふるさとまつり』が一般社団法人須津地区まちづくり協議会主催で、7月23日(土)15時~17時30分に須津小グラウンドで行われます。コロナの影響もあり、3年ぶりの開催となるようです。「子どもたちに楽しい時間を過ごしてほしい。」と、プログラムや模擬店を工夫してくださいました。私は、日頃から子どもたちに地域のよさを実感し、郷土愛を育てていきたいと思っています。今回のまつりは、地域の皆様の子もたちへの温かな思いが詰まった大切な行事です。子どもたちにその気持ちを受け止めながら、積極的に参加するよう声を掛けていきたいと思っております。子どもたちのために、大変ありがたく思っています。当日は子どもたちとともに楽しみたいと思っております。